

引揚ケ、望樓ト通信及ヒ電氣試験ヲ行ヒタルニ、成績良好ナリシヲ以テ、午後五時半、其ノ線端ト敷設シ來リシ線端トノ接續ヲ了シ、茲ニ竹邊、水源端間ノ新通信連絡成リ、第三辰丸ハ、長崎ニ向ヒテ歸航ス、

第四目 鬱陵島リヤンコールド松江間ノ敷設竝ニ水源端ニ於ル電線ノ

接續

明治三十八年六月二十四日、山本海軍大臣ハ、大浦遞信大臣ニ照會スルニ、作戰ノ進行ニ隨ヒ、更ニ松島(鬱陵島)竹島(リヤンコールド)及ヒ隱岐高崎山各望樓間ニ、海底電線ノ連絡ヲ要スルヲ以テ、此ノ際先ツ松島、竹島間ノ工事ヲ委託致度、其ノ工事著手ノ時機等ニ關シテハ、更ニ協議スヘキ旨ヲ以テセシカ、次テ十月八日、以上ノ工事中、松島、竹島間ニ敷設ノ電線ハ、之ヲ松島北假設望樓ニ連絡セシメ、竹島、高崎山假設望樓間ノ連絡ハ、之カ必要ナキニ至リタルヲ以テ、更ニ同島ト出雲國松江附近ノ間ニ海底電線ヲ敷設シ、之ヲ松江郵便局ニ連絡シ、同局ト松島北假設望樓間一回線ノ通信工事ヲ委託セシニ、遞信大臣ハ、右照會ニ應シ、之ヲ奉天丸乗組神谷技師ニ命シ、又松江附近陸揚地點ヨリ松江郵便局ニ至ル陸上線ノ架設ハ、之ヲ廣島郵便局ニ命ス、

奉天丸ハ、十月十日長崎ニ於テ右命令ニ接シタルモ、松島附近ハ、其ノ水深千尋以上ニ達スル處尠カラサルヲ以テ、之ヲ實測スルノ必要アリ、而テ該船裝置ノ測深器ハ、三百尋以上ノ測量ヲ爲ス能ハサルヲ以テ、沖繩丸ヨリ一千尋ノ測量線ヲ借受ケ、其ノ捲取車ヲ假設スルコト、シ、同港ニ於テ諸準備ヲ整ヘ、同二十二日同港ヲ出發シ、翌二十三日出雲國千酌既設海底線(隱岐ニ至ル)陸揚

地ニ著シ、神谷技師ハ廣島郵便局在勤ノ技手ニ會シ、工事上ノ協議ヲ爲シ、翌二十四日千酌ヲ發シ、同地松島間ノ測量及ヒ竹島ノ周圍沿岸ノ實查ヲ遂ケ、同二十六日松島ニ著ス、此ノ行動ニ於テ測量セシハ、二十七箇所ニシテ、其ノ最深ノ水深ハ千四百二十五尋ニ達シ、底質概々沙礫殻ノ類ニ屬シ、又竹島ハ大洋中ノ一孤島ニシテ、其ノ周圍ハ悉ク斷岸絕壁ナルヲ以テ、大風ノ際、波濤ノ岸ヲ噛ンテ奔騰センコト疑フヘカラサルモノアルヲ以テ、該船ハ、最細密ニ其ノ周圍ヲ調査シタル後、其ノ西岸ノ一地點ハ、海濱及ヒ陸上共ニ大石ノ巖ヤタルモノアルモ、其ノ海底ハ、一海里ヨリ二海里ノ間、水深百尋内外、海底モ亦沙礫殻ニシテ比較的安全ナルヲ認メ、此ノ附近ヲ通過シテ電線ヲ敷設シ、必要ニ應シ陸揚ケニ便ナラシムルコトニ定メタリ、

斯テ奉天丸ノ松島ニ著スルヤ、直ニ陸上工事ニ著手シ、海上ノ事業ハ、天候險惡ノ徵アルヲ以テ之ヲ見合セタルニ、夜半ニ至リ風雨猛烈ト爲レルヲ以テ、同二十七日午前四時避難ノ爲メ釜山ニ向ヒ、翌二十八日同地ニ著シ、松島望樓ニ依頼シテ、同地ノ風力及ヒ海上ノ模様等、一日三回電報セシムルコト、シ、天候ノ回復ヲ俟チシニ、同三十一日ニ至リ、稍平穩ニ向フトノ報ニ接セシヲ以テ、即日釜山ヲ發シ、翌十一月一日松島ニ著シ、電線ヲ陸揚ケセシニ、陸上工事モ亦此ノ日ヲ以テ結了セシヲ以テ、海陸兩線ヲ接續シ、翌二日午前五時ヨリリヤンコールドニ向ヒ航進シテ敷設シ、豫定ノ航路ヲ採リテ同地ヲ通過シ、同三日午後一時出雲國千酌陸揚地ノ沖約十海里ノ處ニ至リシニ、前部及ヒ中央貯線池ノ電線盡キタルヲ以テ、其ノ線端ニ浮標ヲ附シテ、之ヲ海中ニ投ス、時ニ朝來險惡ノ徵アリシ天候漸次不穏トナリシヲ以テ、隱岐國浦郷ニ避難シ、後船ニ在

ル海底線ヲ貯線池ニ積替ヘ、翌八日風波稍收ルヲ待チテ黎明同地ヲ出港シ、千酌陸揚地ニ至リ電線ヲ陸揚ケシ、航進シテ敷設スルコト十海里餘ニシテ、囊ニ投入セル浮標位置ニ達シ、相互ノ接續ヲ了シ、茲ニ松島、松江間ノ敷設ヲ了シ、該船ハ松島ニ至リ、同九日最終電氣試驗ヲ行ヒシニ良好ナル成績ヲ得タリ、

是ヨリ先キ、十月十五日平和克復シ、水源端望樓廢止セラレタルヲ以テ、同地ヨリ松田灣方面海底線ニ連接シアル、望樓浦項間ノ陸上線ヲ廢シ、更ニ同地未茂致陸揚地ヨリ海底線ヲ敷設シ、之ヲ海中ニ於テ、在來松田灣ニ至ル海底線ニ接續スルコト、シ、大浦遞信大臣ハ、之カ工事ヲ神谷技師ニ命ス、同技師ハ、松島、竹島、松江間工事中、十一月七日隱岐國浦郷ニ於テ、右電命ニ接シタルヲ以テ、同工事ヲ完了スルヤ、同九日松島ヨリ水源端ニ向ヒ、翌十日同地浦項ニ達シ、其ノ沖合約二海里ノ位置ニ於テ、既設電線ヲ引揚ケ浮標ヲ附シ置キ、未茂地陸揚地ニ航シ電線ヲ陸揚ケ、航進シテ敷設シ、囊ニ設置シタル浮標ニ達シ、之ヲ引揚ケントセシモ途中切斷セシヲ以テ、敷設シ來リタル新線ヲ切斷シテ浮標ヲ設置シ、水源端ニ碇泊シ、翌十一日更ニ數回ノ探線ヲ行ヒシモ、該方面ハ潮流急激ニシテ、船ノ操縱意ノ如クナル能ハサルノミナラス、松田灣方面ニ至ル九海里餘ノ間ハ、古線ヲ使用シアルヲ以テ、電線ノ裝鎧殆ト腐蝕シ、爲メニ捕捉スル毎ニ切斷セリ、依テ松田方面新線敷設ノ位置ニ於テ探線スルニ決シ、同十二日其ノ位置ニ於テ之ヲ捕捉シ、之ニ新線ヲ接續シ浦項沖ニ向ヒ航進シテ敷設シ、囊ニ浮標ヲ附シ置キタル線端ニ達シ、相互ノ接續ヲ了シ、茲ニ水源端ニ於ル電線海中接續工事完成ス、